2023 年 3 月 28 日 一般社団法人日本臨床発達心理士会

人々の生涯発達における課題に寄り添う日本臨床発達心理士会、4月1日に一般社団法人に生まれ変わって活動開始。有資格者の 8 割以上を結集。夏には公開シンポも~少子高齢化、多様化する社会で家庭、学校、施設など幅広く細やかな支援を加速~

人々が発達することに寄り添い支援する専門家である臨床発達心理士は、4月1日より一般社団法人として活動を開始します。「士会」は臨床発達心理士有資格者の8割以上を結集し、名実ともに臨床発達心理士の職能団体として、全国のあちこちで支援を求める方々への支援を実施します。臨床発達心理士は、人々の生涯発達を支援するために適確な、包括的生態学的アセスメントを実施し、その方にあった技法を駆使して支援をします。そのために臨床発達心理士は「士会」に所属して、研鑽を深めると共に会員同士協力し合って支援を進めます。今後、支部総会、社員総会と手続きを進め、6月下旬には運営体制を確立します。また、8月下旬には公開シンポジウムを開催します。

人々が発達することに寄り添い支援する専門家である臨床発達心理士は、発達心理学会などで1996年から設立検討がはじまり、2001年に「臨床発達心理士認定運営機構」が設立されて資格認定が開始されました。2003年には「機構」によって認定された臨床発達心理士が「日本臨床発達心理士会」を結成しました。

このたび、「一般社団法人」として独り立ちし、人格を持った団体として、人々の発達に寄り添う活動がより主体的・機動的にできるようになりました。士会への参加は有資格者の任意ですので、士会への会員登録の手続きが進められて、3月下旬には有資格者の8割以上が参加する、名実ともに「臨床発達心理士の職能団体」となってきました。

4月1日をもって、「機構」の内部組織であった旧「士会」はその役割を終え、一般社団法人としての「日本臨床発達心理士会」にすべての士会業務が移っていきます。本会は、臨床発達心理士である正会員が主体となって運営する組織であり、自らの支援力量の向上を目指すだけでなく、発達支援の担い手として、人々の発達と健康、福祉を支援する幅広い活動に携わり、人々がそれぞれの発達を遂げることができる社会を目指します。

臨床発達心理士の特徴は、まず、的確なアセスメント、包括的生態学的アセスメントを行い、それに基づいて、支援を行います。また、大学教員やその他の教育機関等の仕事に就い

ている臨床発達心理士は、支援者の養成に携わっています。また、以上のことを遂行できる可能性の為に、常に最新の知見を学び、自身の「引き出し」を多くすることが求められています。なので、まだ加入されていない臨床発達心理士有資格者の方にも、本会に加入しともに研鑽を深めると共に人々のために発達心理学的支援に取り組んでいただくことを呼びかけます。

また、「子ども家庭庁」が設立され「異次元の少子化対策」といわれるような抜本的包括的な対策が求められるような昨今の状況で、

「児童虐待」「貧困」「子ども及び大人の発達障害」など生涯発達の過程で生きづらさを抱えている方々への支援の一翼を担うなど、生涯発達のいろいろな場面で課題に直面している方、支援を求めておられる方に、日本発達



心理士会会員は、機敏に支援を提供していこうと考えています。全国に臨床発達心理士はいます。教育機関、福祉関係機関、医療機関、公的機関などに幅広く、心理士として働いています。学校にはスクールカウンセラーとして配属されていることがあります。チーム学校として現場で児童生徒の成長の為に多職種連携を大切にしながら直接的・間接的に支援をしています。

士会の今後のスケジュールとしては、4月下旬から6月上旬にかけて、全国19の支部で支部総会が開催されます。そこで選出された代議員(社員)によって6月下旬に社員総会が開催され、運営体制が確立します。8月末には全国大会が行われ、そこでは、「学校における『誰一人取り残さない支援』を考える」と題して公開シンポジウムが開催されます。

士会についての情報は士会ホームページをご覧ください。https://www.jacdp.jp/

(「臨床発達心理士」は「一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構」の登録商標;登録番号第6368253号です)

本件担当は、設立時理事(広報担当) 西山剛 司 bergovest(at)icloud.com

JACDP 一般社団法人日本臨床発達心理士会 事務局



〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター内

TEL:03-6824-9398

FAX:03-5227-8631

URL https://www.jacdp.jp/